

武庫川流域委員会第5回まちづくり部会 050914 資料

武庫川流域の計画と阪神間都市計画区域等との調整・関連整理の必要性

2005.09.01 武庫川流域委員会 委員 田村博美

以下要点のみ記載する。

武庫川流域（氾濫域も含めて）は、主に阪神間都市計画の区域と神戸都市計画の区域が含まれる。

阪神間都市計画区域は、三田市、芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町が含まれる。神戸都市計画区域は神戸市の範囲。

武庫川流域は、上記アンダーラインの都市の全域あるいは一部が含まれる。

都市計画は、地域の人口、産業等の動向を把握及び将来予測しながら概ね5年に1度見直しされる。武庫川総合治水に主として関連する都市計画の内容は、土地利用計画区域、市街化区域、市街化調整区域、都市施設等、自然的環境、都市環境、市街地整備等であり、当然武庫川の河川整備計画立案のためには地域の将来動向を十分踏まえておくことが重要である。

都市計画区域の将来計画方針である、「整備、開発及び保全の方針」について、平成15年度都市計画審議会で決定された、阪神間都市計画区域についての内容の内、武庫川流域に関連するところを抜粋する。注：ゴシックの文章については、私の個人的質疑事項であり、今後WT,WG等で検討したい。

1 基本的事項

- (1) 基本的役割 省略
- (2) 策定区域 省略
- (3) 目標年次

平成12年（2000年）を基準とし、概ね20年後の都市の姿を展望しつつ平成22年（2010年）を目標年次とする。

2 課題と目標

- (1) 背景と経緯 省略
- (2) 都市計画の課題 省略
- (3) 都市計画の目標 省略

3 区域区分の有無及び方針

- (1) 区域区分 省略
- (2) 区域区分の方針 将来人口の想定

区分	平成12年	平成22年
都市計画区域内人口	1,685千人	概ね1,771千人
市街化区域内人口	1,642千人	概ね1,726千人

課題：上記人口動向が流域内でどのように推移しているか、さらに長期的見通しはどうか。

市街化区域の概ねの規模

区分	平成12年	平成22年
市街化区域面積	概ね20,433ha	概ね20,440ha

4 基本方針

- (1) 土地利用に関する方針

略 豊かな自然が残る北部では、自然環境を保全するなど都市住民の貴重な自然とのふれあいの場を確保するとともに、略

市街化調整区域内で 略 計画的な整備、開発の見通しのある区域については、今後、その整備の見通しが明らかになった段階で、農林業との調整を行いながら保留フレームの活用等により、随時市街化区域に編入する。

課題：市街化調整区域内の計画では、宝塚新都市等の将来的見通し、市街化区域では、今後の人口減少、郊外の住宅地需要の見通し、産業用地の土地利用転換、市街地内の緑地整備等について。

(2) 自然的環境に関する方針

自然の持つ力を有効活用するとともに、猪名川、武庫川流域や、六甲山系、 略 など本区域の都市近郊に残された自然や自然景観を保全し、緑豊かな環境の維持と創造を図る。

(3) 都市交通に関する方針 略

(4) 都市環境に関する方針

ア基本方針 略 河川整備に際しては、河川整備計画に基づき、自然の豊かさや空間利用の観点から人と生物の共生に配慮した多自然型川づくりを進めていく。 略

ウ都市景観の形成 六甲山系、北摂連山、武庫川、猪名川、旧西国街道といった地域の自然、歴史、文化の特性を活かしたまちなみの保全と、市街地にあっては地区の特性に応じたまちなみの形成を図り、住民が親しみと誇りと愛着をもてる、個性ある景観を形成する。

課題：武庫川及び周辺地域の樹林、景観に関してどの程度の調査データがあるのか。

(5) 市街地整備に関する方針 略

(6) 都市防災に関する方針

ア防災拠点の整備とネットワーク 略 地震、水害等の自然災害発生時の防災機能を高める。

ウ土砂災害の防止 災害危険区域や土砂災害警戒区域等の指定 略 六甲山系グリーンベルト整備事業等。

エ総合的治水対策 略 河川での対応だけでなく、流域での対策や下水道との連携などを含めて総合的活効果的な治水対策を進め、安全なまちづくりに取り組む。

5 主要な都市計画等の指針

(1) 土地利用に関する都市計画等の指針

略 宝塚新都市地区 略 については、事業計画が具体化し、農林漁業等との調整を了した段階で整備を図る。

(2) 都市交通に関する都市計画等の指針 略

(3) 都市環境に関する都市計画等の指針 略

(4) 市街地整備に関する都市計画等の指針 略

(5) 都市防災に関する都市計画等の指針 略